



糖尿病性足病変について

内分泌代謝内科

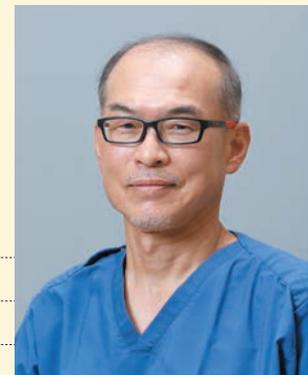
家城 恭彦

糖尿病性足病変ってあまり聞き慣れない言葉ですが、決して特別な病変が糖尿病患者さんの足だけにできるわけではありません。糖尿病に伴う高血糖や種々の合併症（中でも、神経障害と血流障害）を背景に、足に生じた全ての病変（靴擦れ～水虫～胼胝～爪異常～潰瘍～壊疽）の総称です。なぜ糖尿病が問題になるかという、糖尿病でない人の15～40倍発症しやすく、神経障害のために発見、治療が遅れ、さらに血流障害や感染合併のために治りが悪く、最悪切断も免れません。たとえ治ったとしても再発しやすく（5年で70%）、予後不良（5年で70%は死亡）な疾患です。糖尿病（血糖）の状態を良くしておく（HbA1c < 7.0%）ことは、発症・進展予防のための十分条件にはなり得ず、より直接的に有効なことは、些細な足の異常（色調・温度・形などの変化、爪・皮膚の異常）も見逃さず、早急に専門医に相談・紹介することです。

じゃあ、「足の専門医」って何科？わが国では足を専門に診る特定の診療科はなく、多診療科がチームで診療するスタイルが一般的で、当院も例外ではありません。足病変を前にして、どこに相談・紹介するかで悩んでいる暇はありません。当院のどの診療科にご紹介いただいても、必ず関連する診療科で情報は共有され、そして学会が認定するスキルに秀でた多数のエキスペーターナースが、

その後のフットケアを責任を持って継続いたします。

最後に宣伝をさせていただきます。10月7日（土）、富山国際会議場におきまして、「第3回日本フットケア・足病医学会 東海・北陸地方会学術集会」が開催されますが、そのお世話を小生が仰せつかっております。3連休の初日ではありますが、ご興味がありましたら（いや、なくても）、是非会場に「足」を運んでいただき、フットケアや足病医学の最新情報に触れていただけましたら、お世話役としてこれ以上の喜びはありません。当日、会場でお会いできますことを、心より楽しみにしております。





研修・講演・学習会のご案内

1. 地域連携症例検討会

予告

※ 8月の地域連携症例検討会の開催はありません。

次回の開催は下記のとおりです。ご参加をお待ちしております。

日時：9月12日（火） 19：00～20：00（ハイブリッド開催）

場所：当院3階 講堂

内容：①症例検討 1例（担当）腎臓内科

②ミニレクチャー 1題（担当）循環器内科

2. 腎臓病教室のご案内

予告

日時：10月3日（火） 13：30～15：45

場所：当院3階 301会議室

今回は、令和6年2月22日の開催を予定しております。

腎臓病教室に関するお問い合わせは、内科外来までご連絡ください。

作：病院ボランティア 篠崎 佳子



がん化学療法看護エキスパートナースの活動

がん化学療法看護認定看護師 浜田真由美
がん化学療法看護エキスパートナース 吉本 有里



現在の日本において2人に1人ががんになると言われています。がん治療において、化学療法は手術や放射線療法と並ぶ3つの治療法のうちの一つであり、抗がん薬や分子標的治療薬において新しい治療薬が次々に開発されてきています。最近では、さらに免疫チェックポイント阻害薬が加わり、治療方法や技術はめまぐるしく進歩しています。

がん化学療法看護エキスパートナースは、治療の進歩に対応すべく、学会や学習会への参加、文献による知識の習得など自己研鑽を重ね、知識やスキルの向上に努めるとともに、得られた情報を勉強会や日々の看護実践を通して、スタッフへの教育や指導・支援を行っています。

がんと共存する時代において、治療を続けながらも自分らしく生きることが出来るよう患者さんの生活の質の向上をめざし、患者・家族の指導、支援を行っていきたくと考えています。

がん化学療法において、個々の患者さんに対し医師や薬剤師、栄養士など多職種がチームを組み、協力して医療・看護を提供していますが、患者さんの最も身近にいる私たち看護師の果たす役割は大きいといえます。セルフケア方法や治療に対する正しい情報を提供し、患者さんの心に寄り添いながら治療の過程を支えていきたくと考えています。

医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

8月

科名	医師名	不在日	科名	医師名	不在日
内科	野村智	1日、25日、29日、30日	麻酔科	本田	4日
	水野	2日、4日、7日、9日、25日	形成外科	宮下松	1日、2日
	向井	28日	皮膚科	野村佳	14日、15日、31日
	浅野	31日		大村	7日、23日
	外科	曾根	7日	山野	7日
佐々木		30日	脳神経外科	毛利	22日、23日、24日、25日
竹下		14日、15日、24日、25日		出村	1日、2日、3日
名倉		21日、23日、24日	呼吸器・血管外科	土岐	15日、17日
竹中	9日	酒井		29日、31日	
泌尿器科	高瀬	1日、4日	小児科	和田拓	24日、25日
整形外科・関節再建外科	重本	7日、14日		西橋	4日
	産婦人科	岩井	3日	眼科	山田芳
長谷川徹		14日	村上		7日、28日
田中智子		1日、3日	耳鼻いんこう科・頭頸部外科	辻	14日、16日
廣兼	9日、10日	児島		2日、24日	
精神科	五十嵐	24日、25日	歯科口腔外科	朽名	7日、8日、9日、10日
	金子	9日、29日			

※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。TEL 076-422-1112 (代) 内線2168

編集後記

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが変わり、流行前の生活スタイルを取り戻しつつあります。当院でも家族の面会が再開されました。患者さんにおかれては、心細い入院中に家族の笑顔に元気づけられていることと思います。

私もコロナ禍で、出産を経験し、家族の付き添いや面会もなく、寂しい気持ちや心細い気持ちでいっぱいだったことを思い出します。息子も2歳を迎え、毎日元気に保育園に通っています。保育園にお迎えに行くと、「ママー」と大きな声と満面の笑みを浮かべながら駆け寄ってくれます。息子の笑顔に一日の疲れも癒されます。これからも笑顔を忘れず、患者さんと向き合っていきたいです。

薬剤部 小松 智美

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1112 (代) / FAX 076 (422) 1154
メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp



ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> / がん何でも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp